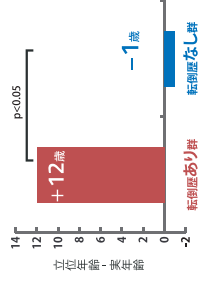




データで見える立位年齢

転倒歴あり群は立位年齢が高い

転倒歴あり群は、なし群に比べて立位年齢が実年齢よりも高いことがあきらかになっています。
※当社調べ



転倒歴あり: 61名(平均年齢:43.4歳)
転倒歴なし:102名(平均年齢:43.9歳)

利用ユーザーの声

製造業 現場管理者

「だいたい週に一度計測しています。転倒リスクが数値として出てくるので、転倒予防の意識が高まりますね。転倒予防体操の効果も検証できる点も使いやすいです。」



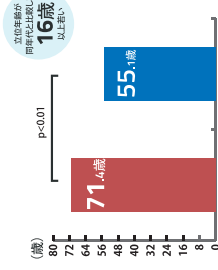
食品加工会社 労働衛生担当者

「体動室に置いてセルフで計測できるようにしています。結果をみながら盛り上がるので、健康づくりに向けた社内のコミュニケーションの一環にもなります。」



運動習慣あり群は立位年齢が若い

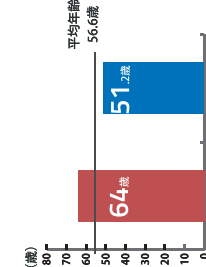
運動習慣のある、スポーツセンター定期利用者の立位年齢は同年代と比較して16歳以上若いことが認められました。



横浜基ススポーツセンター・利用人数:6名
平均年齢:71.4歳/67.2歳
平均立位年齢:55.1歳/51.7歳

体操で立位機能若返り

「個別の体操専用に、従業員の立位年齢に若返りが認められました。」
※当社実験による



1分で転倒リスクを見える化



転倒リスク計測装置 StABLE[®]

Standing-Function Assist and Assessment method Based on Light touch Effect

ステイブル

セット内容

- StABLEデバイス
 - 解析ソフトウェア内蔵パソコン
 - 重心動揺計
 - Webカメラ
- ※ カメラはオプションです。

- レンタル
 - 計測会
- など、ご要望に応じて対応しております。お気軽にお問い合わせください。

StABLEデバイス 主な仕様

- サイズ
 - ① 制御ユニット
W68×D50×H25.2
 - ② 振動型加速度センサ*
W60×D15×H15 (M)
 - 電源: miniUSBポート充電式
 - 連続動作時間: 約2時間
 - 通信方式: Bluetooth
- *振動型加速度センサはSMLの3サイズがあります。



StA²BLE体操

結果に応じた、理学療法士お勤めの18種類の体操を提案、レポートへの記載だけではなく動画での提供も可能。



※体操種類は、身体形態によって異なります。

セルフモード

StA²BLEにはオペレーターモード(計測員による計測)とセルフモード(自身での計測)があります。セルフモードでは動画を利用してわかりやすく説明されるため、計測員がいない・体動室等でも活用できます。



※計測で計測するため、「セルフモード」際は万一の転倒に配慮し実施して下さい。

「StA²BLE[®] (スタイブル)」と「立位年齢[®] (りつゐんれい)」はUNTRACKED株式会社の商標登録です

UNTRACKED 株式会社
UNTRACKED株式会社

横浜市保土ヶ谷区常盤台79-7
横浜国立大学総合研究棟E206-1A
https://www.untracked.co.jp/
mail info@untracked.co.jp

UNTRACKED 株式会社



YOKOHAMA KOKUDAI VENTURE
横浜国立大学
ベンチャー・ラボ



ご体験できます
お気軽にお問い合わせください
お求め/お問い合わせは当店で

UNTRACKED

本製品は薬機法で規定された医療機器ではありません。本製品の計測データや出力される情報は、疾病の診断、治療若しくは予防を目的とするものではありません

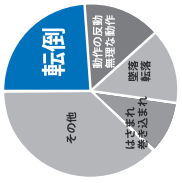
一人一人の技術から全人類の社会へ

転倒リスクを数値で把握。すぐに対策。「安心安全の職場づくり」をしっかりとサポート。

わずか**1**分で転倒リスクを見える化

ステイブル
StABLE[®]
 Standing-function Assist and Assessment method based on Light touch Effect

転倒
 労災原因第**1**位



高齢化に伴い、
転倒災害は重大な社会課題

- しかし、転倒事故対策は難しい…
- 計測結果の従業員への説明が難しい
 - 効果的な改善方法がわからない
 - 感覚機能の評価が難しい
 - 計測する時間や場所が足りない

StABLE[®]は、転倒の原因となる「身体機能」と「感覚機能」の両方を弊社独自の技術で計測。結果を数値で見える化する、世界でトップクラスの転倒リスク計測装置。



StABLEデバイス

腕を振ると振動する計測中は振動 ON/OFF を繰り返す

総合判定

立位年齢と、実年齢を加味した総合判定 (A-Eの5段階)

立位年齢

転倒リスクの評価指数

機能改善トレーニング計測結果に応じて提案動画もあります！



PC (解析ソフト搭載)

重心動揺計の結果から立位機能を算出

重心動揺計

身体のふらつきを読み取る

簡単操作
1分で計測

指先に装置を取り付け、1分間目を閉じて重心動揺計の上で手をふるるだけの簡単操作。従来の転倒リスク計測方法と比較して短時間で多人数の評価を行うことができます。



「身体」「感覚」
 両機能を評価

身体機能に加え、従来の体力測定では測れなかった感覚機能を同時に計測。立位年齢をはじめ、数値化された様々なスコアを解りやすく表示したレポートがすぐに出力できます。



ぴったりの体操

理学療法的知見に基づき、転倒に関わる身体・感覚系能力を改善するための個別転倒予防体操を構築。StABLEの計測結果に応じた体操を提供し、転倒しにくい身体づくりを応援します。



ゆりまわりで止める！



計測は簡単 **2**STEP!

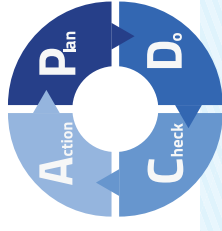
1 デバイスを利き腕に装着

2 両足を揃えて重心動揺計の上に立ち1分間、目を閉じて腕を振り続ける

レポートが印刷される

廻せる!! 職場転倒対策の **PDCAサイクル**

数値で計画・数値で把握・数値での評価・数値で改善。PDCAをしっかりと廻す。



テクノロジー

■ 仮想ライトタッチ

ヒトは指先で何かに軽く触れていると、安定して立つことができると感じる。この現象を仮想的に再現できます。これを発見し、小型転倒予防装置を開発しました。



何も無い空間でライトタッチを再現
 特許第6593418号ほか
 多発的な転倒の予防装置
 特許第6593419号ほか
 特許第6593420号ほか
 特許第6593421号ほか
 SHIMADA LABORATORY

■ 立位年齢[®]の算出

振動刺激をなくしたときの身体のふらつきを解析し、その個人差を基に転倒リスクや立位に落ちる身体・感覚機能を評価する転倒リスク計測装置StABLEを開発しました。



転倒リスクを低減させる
 身体機能
 筋力
 柔軟性
 平衡
 感覚機能
 視覚
 聴覚
 触覚
 振動刺激
 身体感覚
 身体機能の低下を抑制

■ 感覚機能の評価

転倒リスク評価では身体機能だけでなく感覚機能も重要ですが、従来の方法は、感覚機能の評価が困難でした。StABLEは重心動揺計を用い、個々のふらつきの数値を算出することで感覚機能を評価できるようになりました。



SHIMA Laboratory

構成員 立位年齢の研究はごちさ
 最先端の研究はこちら ▶
 構成員 立位年齢の研究はごちさ
 最先端の研究はこちら ▶

テクノロジー

厚生労働省が美証、評価

厚生労働省が実施の「高齢労働者安全衛生対策実証等事業」に採択され、指定の第三者機関による客観的検証の結果、「転倒リスクを定量的に可視化する対策である」との評価がなされ報告書が公開されています。

